

(別紙4(2))

事業所名 よりあい処向山

目標達成計画

作成日: 平成 29年 3月 24日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	25	ご利用者様の体調の変化や身体機能の変化に合わせたケアの統一ができていないことがある。	ご利用者様の状態に合った適切なケアを職員全員で統一し、提供することができる。	ご利用者様の体調や身体機能の変化に応じてアセスメントを適宜行い、ケアプランの見直し及び、ケアの方針を書面にて周知、確認を行う。	12ヶ月
2	27	気付きや工夫の案があっても、介護リーダーとの勤務の擦れ違い等で連携がとれず、実践に移せていないことがある。	職員の気付きや工夫の案を実践することができる職場環境を整える。	職員の休憩室に職員用の意見箱を設置し、随時発案を検討していけるようにする。	1ヶ月
3	36	ご利用者様との関係が慣れていくにつれて、ご利用者様に対して言葉遣いが乱れている事がある。	言葉遣いを気を付けると共に、適切な言葉かけが出来る。	スタッフ一人一人が注意していくと共に、適切でない時はその場でスタッフ同士で注意し、必要に応じて管理者から注意していく。	12ヶ月
4	40	ご利用者様が増え、食べたい物の要望が増えてきたのでオリジナルメニューや調理レクにご利用者様の希望を取り入れた献立をたてていく。	オリジナルメニューや調理レクを行い、利用者様の希望に沿った料理を提供を行うことが出来る。	オリジナルメニューや調理レクを考えるスタッフと話し企画を立てると同時に、利用者様の希望の整理を行う。	6ヶ月
5	43	利用者様の排泄形態を見直したため、利用者様の排泄時間を把握を行っていく。	ご利用者様の排泄パターンを把握する事によって、パットの交換を少なくすると共に排泄できる人はトイレでの自己排泄を行ってもらう。	パーソナルチェック表を見直しをし、記入方法を変更し、ご利用者様の排泄パターンの見直しをしやすくするとともに、適切な声掛け・誘導を行っていく。	12ヶ月
6	52	リビングとは別の部屋があるが、物が置かれてくつろげる状態になっていない時がある。	必要最低限の物品しか置かない様にし、くつろげるスペースを保っていき利用者様にくつろいでいただく。	こまめに見ていき、物が置いてあれば片付けていくと共にくつろいで頂けるように活用をしていく。	2ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。